

# 2015 国際教養科 NEWS 3月

## 国際教養科 今年度の活動のまとめ

今年度は本校が、「21 世紀型教育モデル校」指定を受け、発信力を育成する外国語教育の充実をはかることを目的に、グローバル時代に対応できる、発信力の育成を含む外国語教育の教授法を実践研究してきた。また、「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」の指定を受け、信州大学のアドバイスを受けながら、西部中学校と連携して実践研究を進めている。また、ユネスコスクール登録に向けて準備を始めた。

国際教養科の日常の授業活動では、主に、①1年次では、2年次での卒業論文(英語)作成を意識したプレゼンテーションの充実、②2年次では、卒業論文作成とプレゼンテーションコンテストの実施を生徒の総合的な英語力向上のための効果的な活動として重点的に、取り組んできた。一方、対外的な学習活動では、昨年に引き続いて4月に春季英語合宿(一泊二日)を行い、7月・8月に善光寺での英語ガイド研修と県内の新規ALT等34名との交流、9月に秋季英語合宿(二泊三日)、3月に海外語学研修(二週間)などを実施することで、生徒が教室の授業だけでなく、日常生活全般で英語に触れる機会をできるだけ多くし、生徒が英語を使う必要性を認識し、英語学習のモチベーションを高め、英語力の向上につなげることを目指した。また、信州大学との高大連携事業(小池先生と院生による発展的な異文化理解の授業体験・安達先生とゼミ生によるマインドマップを利用したキャリア教育授業体験・信大 YOU 遊フェスティバル・茂苜まんてん農場でのスタッフ参加)、清泉女学院大学とのバンングラディッシュ教育支援ボランティア提携、各種コンテストや大会への積極的な参加、学校でのタイや台湾からの学生との国際交流、海外派遣(米・仏・中・韓・独)、講演会などを、普通科の生徒も含めて全校で活発に行うことで、学習面や進路面で大きな刺激をいただき、生徒が自己表現力を高めたり、異文化理解や国際理解に努め、グローバル化の進む社会に対応できる能力を伸ばすことを目標にした。さらに、HPで今年度の国際教養科の活動を積極的に一般公開し、できるだけ、生徒の感想や活躍する姿を掲載した。

来年度の課題は、今年度の活動を継続しながら、さらに国際教養科の活動を全校で共有し、押し広げ、信大との高大連携を深めたり、国際的な舞台で活躍している卒業生の活躍を紹介して、生徒の啓発に努めたい。

### 今年度の活動

(計画表の中の1-7は国際教養科1年、2-7は国際教養科2年のクラス)

月	行事・計画等
4月	15日 第2外国語授業(韓・中・仏・独)開始(1-7・2-7、社会人聴講生6名)
	18日 タイ高校生教育訪日団生徒25名訪問 学校交流
	19-20日 長野マラソン海外一般選手参加者受付(2-7希望者17名)、国際交流ブース(1-7全員)
	26-27日 春季英語合宿(長野市小山学園長野教育センター)★3年目 (1-7 41名(全員)、2-7 3名、普通科1年5名も含め49名が参加) 神田外語学院講師3名が指導

6月	20日 海外語学研修入札→JTBに決定（研修先は米国東海岸ボストン・ニューヨーク）
7月	11日 外務省 ODA 国際協力出前講座（国際教養科1年～3年）
	15日 JICA 異文化理解出前講座(3-7 全員)、台湾国立高雄第一科技大学生 4名と交流（1-7 全員）
	18日 県政策研究会と長野県観光についてのワークショップ（3-7、11名）
	19日 信州大学茂菅まんてん農場ボランティア参加(1年1名、2年4名、3年5名全校希望者から)
8月	25日 国際教養科1年生 善光寺英語ガイド講習会（1-7 全員）
	1日 中学生体験入学 国際教養科の説明、在校生との交流、英語の体験授業実施（1-7、2-7） 22日 長野県新規 ALT と英語で交流（1-7 全員）
9月	12-14日 秋季英語合宿（福島県 British Hills）（1-7 全員、普通科1年4名含め45名参加）
10月	10日 国際教養科特別授業（全校平和人権学習）伊勢崎賢治先生（全校生徒対象） 東京外語大学教授 講演会演題「紛争屋の外交論」
	22日 信州大学教育学部小池浩子先生 高大連携出前授業 異文化理解（2-7 全員）
11月	16日 ワールドフェスタ IN 長野（1-7 参加）
	20日 信州大学教育学部安達仁美先生とゼミ生徒 高大連携キャリア教育出前授業（1-3）
12月	7日 信州大学教育学部 高大連携事業 YOU 遊フェスティバル ボランティア参加 （1年4名2年10名14名参加）
	17日 台湾高雄市立高雄高級中等学校 31名と交流（1-7、2-1,2,5,6,7 組）
	18日 信州大学教育学部安達仁美先生とゼミ生徒 高大連携キャリア教育出前授業（1-2）
1月	16日 信州大学教育学部小池浩子先生と院生 高大連携異文化理解出前授業（1-7）
2月	6日 国際教養科卒論英語プレゼンテーションコンテスト決勝（2-7）
	10日 前期選抜試験実施 12日 アメリカ大使館副領事講演会アメリカ留学について
	17日 第二外国語地域開放講座 社会人聴講生への修了証書授与式
3月	8-21日 海外語学研修（米国ボストン・ニューヨーク）（1-7、普通科1年希望者）
〔留学生受け入れ〕	
1)AFS 日本協会 <u>アメリカ合衆国高校生女子生徒1名</u> <u>ドイツ女子生徒1名</u>	
・ Mabel Castillow 長期（H26年4月4日～26年7月17日の3ヶ月） 1-4 在籍	
・ Chantal Melissa Neupert 長期（H26年8月26日～27年7月12日の約11ヶ月間） 1-7 在籍中	
2)コリブリ日仏高校ネットワーク <u>フランス高校生女子1名</u>	
・ Virginie 短期(H26年10月18～11月8日の3週間) 2-7 在籍	
3)国際交流基金 <u>中国高校生男子生徒1名</u> <u>女子生徒1名</u>	
※中国高校生長期招へい事業	
・ 劉 牧言 長期(H25年9月～H26年7月16日の11ヶ月間) 2-7 在籍	
・ 陳 美君 長期（H26年9月～27年7月までの約11ヶ月間） 1-7 在籍中	
4)WYS 教育交流日本協会 <u>ドイツ女子生徒1名</u>	
・ Danja HOERMANN 短期（H26年9月1日～27年1月30日の5カ月） 2-3 在籍	

〔留学派遣〕

- 1) 文科省国際教育課ドイツ連邦共和国政府による高等学校等生徒招聘事業  
小山 将吾(3-7) H26年8月12日～9月11日
- 2) AIU 高校生国際交流プログラム  
加藤 志歩(3-7) H26年7月20日～8月11日
- 3) コリブリ日仏高校ネットワーク 長野西高生女子1名(フランス語選択者) フランス派遣  
宮尾 優惟(2-7) H27年3月14日～4月4日(3週間)
- 4) 長野県日中友好協会孔子学院サマーキャンプ北京・黄山 前田 惇超(3-7)  
H26年9月1日～9月12日

〔入賞関係〕

- 1) 「第16回独協大学全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト」本選出場 入賞 矢口 基士(2-7)
- 2) 「第2回独協大学全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト」本選出場 入賞 宮尾 優惟(2-7)
- 3) 「第2回独協大学全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト」教育奨励賞受賞  
長野県長野西高校
- 4) 「第16回ブリガムヤングハワイ大学スピーチコンテスト」長野県大会出場  
武石 明日香、中村 菜美、松野 はるか、藤沢 菜月(1-7)

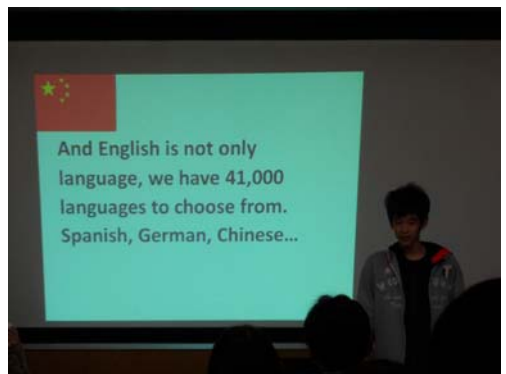
〔第2外国語の地域開放講座(箱清水の地域の皆さん)〕

韓国語2名(1年目1名、2年目1名)、ドイツ語2名(1年目1名、2年目1名)、フランス語2名(1年目2名)の計6名受講

## 卒論プレゼンテーションコンテスト講評

国際教養科2年のLL.Comの授業では、昨年11月から、本格的に卒業論文作成に取りかかりました。できあがった皆さんのすばらしい卒業論文プレゼンテーションに感動して、涙が浮かぶこともありました。その努力と成長の過程が形となったことに感謝し、2年7組の皆さんを誇りに思います。

まず、テーマ設定からでした。「今後の人生においても、ずっと興味関心を持ち続け、探求し続けていきたいことを、テーマに設定して下さい」とお願いしました。皆さんは、素直にその言葉を受け止め、大学で専攻したいと思っていることをテーマに選んだ人もいました。今、日本中で、世界中で注目を集めている「おもてなし」をテーマにした人もいま



した。5カ国語という多様な言語を駆使して、流暢な英語、ドイツ語、中国語、スペイン語、日本語も披露して、多言語学習のおもしろさを伝えてくれた人もいました。豊かな才能あふれる皆さんの、めきめきと成長していく様子を間近で見ることができたことは、私にとっても大きな喜びでした。

皆さんの卒業論文プレゼンテーションは、それぞれのカラ



一で掘り下げられ、堂々として熱く語り、時に感動的で、ずっと聞いていたい発表ばかりでした。英語で7~8分にわたる発表を、巧みにジェスチャーや分かりやすいパワーポイントのスライドを使って、41人全員が発表できたことも素晴らしいことです。ファイナル・プレゼンテーションは、レベルの高さから9名になりました。9名全員を入賞させることはできませんが、あまりに素晴らしい発表から、順位を付けるにも意見が割れ、ALTを含む4名で何度も考えました。その結果、1~3位に4位を2名追加することになりました。入賞できなかったファイナリストも、素晴らしい発表でしたので、自信を持って今後の学習に取り組んで下さい。



国際教養科に入学して、プレゼンテーションを繰り返すたびに、声のトーン、発表のスピード、目線の動き、ジェスチャーの振り、観衆の巻き込み方など、どんどんスキルアップして行きました。恐らく日本中の高校生で、これほど上手く、英語でプレゼンテーションができる集団は、多くはないと思います。当然苦労も多々あったことと思います。けれども41人全員が、見事に乗り越えました。これは、学習面でも生活面でも、これから人生を生きていく中で避けて通れない様々な課題に立ち向かう時、大きな力と自信になるはずです。英語でプレゼンテーションをしたという経験は、必ず役に立ちます。自信を持って、残る1年間、多いに学び、多いに自分と向き合い、将来グローバルに活躍していくための、素地を磨いていってください。

2年7組の皆さんの、これまでの取り組みに敬意を表し、今後の大いなる活躍を期待しています。「意志あるところに道がある。」志を高く持ち、困難に出会ったときこそしっかりと立ち向かい、自らの壁を乗り越え、未来を切り拓いて行ってください。



*Where there is a will, there is a way.*